

くずは

2022. 4. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題「桜」

この「くずはのたより4月号」が配布される頃、くずはの広場のソメイヨシノはもう葉桜になっていると思いますが、丹沢の山腹ではオオシマザクラやヤマザクラ、マメザクラなどが、まだ花を付けていることでしょう。

サクラの仲間(バラ科サクラ属)は、北半球の温帯～暖帯にかけて100種近くが知られ、そのうち自生する独立種が国内に10種(あるいはカンヒザクラを入れて11種)、県内には8種類あるそうです。

11種類のサクラの原種とは、*エドヒガン、*オオシマザクラ、*ヤマザクラ、*オオヤマザクラ、*マメザクラ、*チョウジザクラ、*カスミザクラ、*ミヤマザクラ、タカネザクラ、クマノザクラ(紀伊半島南部で2018年に発見)、カンヒザクラ(台湾起源の外来種で沖縄で野生化?という説もある)で、そのうち*を付けたものが県内にある種類です

サクラは雑種ができやすく、有名なソメイヨシノはエドヒガンとオオシマザクラの雑種に由来するとされる栽培品種で、最近あちらこちらに植えられているカワヅザクラも、オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種を起源とする栽培品種です。また、今まで広場でマメザクラと呼んでいたサクラも、いろいろな特徴からマメザクラとエドヒガンの交雑種のコヒガンであろうと推測されたので、表示もそのように変えました。

なお、交雑種は遺伝子の組み合わせに様々なものがみられ、例えばコヒガンの場合、【マメザクラ×エドヒガン=コヒガン】にさらにマメザクラが交配したようなものもあり、これら全てを総称してコヒガンと呼ぶそうです。このような自然交雑種の他に、人為的な交配で生み出された栽培品種もあり、そのような品種は300種以上(一説には600種以上)に達しているそうです。

さて、サクラは見ても美しいのですが、食べて楽しむこともできます。八重桜(カンザン=オオシマザクラが基になった栽培品種。セキヤマとも言う)の塩漬は渋沢丘陵一帯(秦野、大井、小田原)で栽培、加工され、出荷量は全国シェアの9割を占めるようです。

また、この時期は桜餅という美味しいお菓子もいただけます。7月頃までにまだ柔らかいオオシマザクラの葉を摘み取り、塩漬にした葉で餡子が入った餅を包みます。こちらの桜の葉は、西伊豆の松崎町で全国シェアの7割が生産されているそうです。

生きた桜の葉細胞内にはクマリン酸配糖体と言う物質が含まれています。このままでは香りはありませんが、塩漬にして細胞が死んで壊れると、そこに含まれるクマリン酸配糖体が酵素によって分解され「クマリン」が生成し、芳香を放つようになります。これが



コヒガンザクラ

行事報告



3/13(日)ちびっこあつまれ冬のしぜん(27人)



3/26(土)春の野鳥観察(21人)

参加者の声

- ・カブトムシのようちゅうをはじめてさわれた。せつけんをつくれた。はじめておたまじゃくしをかんさつできた。
- ・家族だけでは発見できないことばかりなのでとても楽しかったです。
- ・どんぐりが成長していく過程がしらなかったのでもっとおもしろかったです。(ちびっこあつまれ!冬のしぜん)
- ・自分たちだけではなかなか見つけられない知らない鳥を見ることができておもしろかったです。また違う季節にも参加したいです。
- ・望遠レンズでカラスの巣が見られておもしろかったです。
- ・解りやすい説明と親切なスタッフの方で充実した鳥の姿を確認できました。また、次の機会、観察楽しみに参加させていただきたいです。
- ・普段は出会えないアオゲラやイカルに出会えてよかったです。これからもアオゲラやイカルを探したいと思った。(春の野鳥観察)

くずはの家 行事案内

屋の行事：小学2年生以下(野鳥観察は3年生以下)は保護者同伴

日時	テーマ・講師	対象・定員	受付開始
4月29日(金・祝) 9:30~14:00(受付)	*春のグリーンオリエンテーリング *もいんと遊ぼう	どなたでも	当日受付
5月3日(火・祝)~ 5月5日(木・祝) 9:30~16:30	*企画展「木のおもちゃから広がる世界」 *ゴールデンウィークウォークラリー (ウォークラリーの受付は15:00まで)	どなたでも	当日受付
5月21日(土) 10:00~11:30	ちびっこあつまれ・森へ行こう	3~6歳の幼児と その保護者20名	5月1日
5月28日(土) 9:30~11:30	鳥の巣のお話と野鳥観察	小学生以上20名	5月1日

桜餅の香りです。クマリンはキク科ヒヨドリバナ属の植物の葉にも含まれるので、秋の七草のひとつフジバカマの葉が枯れると辺りに桜餅の香りが漂います。

先日、和菓子屋さんに行ったら、「桜が咲いている間は、桜餅有りますよ〜」って言ってました。明日、桜餅買ってこようっと。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋
参考：神奈川県植物誌2018、平凡社日本の野生植物、牧野植物図鑑インターネット版、財団法人日本さくらの会 HP、Wikipedia、ODAchan's Talk「桜餅特集」

くずはの広場かんさつガイド

⑥「春のチョウ」・⑦「フィールドサインをさがそう」ができました!

天気の良い日は、広場でチョウの観察はいかが?川原に行けば、フィールドサインも見つけられるかも!



ガイドを持って春の自然観察をお楽しみください♪くずはの家で無料配布中。

ホームページからもダウンロードできます。

行事へのお申し込み・お問い合わせは

電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874

E-mail, kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

5月の休館日

2日、6日、9~12日、16日、23日、30日

http://www.city.hadano.kanagawa.jp/

秦野市のHPの公共施設案内にくずはの家ホームページがあります!

くずはの家のボランティア活動

☆3月の活動

定例会:3/6(日)と3/31(木:臨時ボランティア)は、九沢の竹林の整備を行いました。枯れた竹を切り倒し、柵も作り直してきれいな竹林を保つためにみんなで奮闘しました。

3/17(木)は、咲き始めたコヒガンザクラの下で竹の名札にペンキを塗り、一年分の草花用名札を準備しました。先月に引き続きシイタケ菌の植菌、薪割りも行いました。

花壇の会:3/3(木)野草の土手の落ち葉掃きを行いました。ここは春一番に咲く草花がたくさん植えてありますから、どうぞご覧ください。

とんぼのせせらぎ:3/24(木)昨年大雨で被害を受け、水が止まってしまったとんぼのせせらぎの復旧作業継続中。送水ポンプと木栓の固定を行いました。流れが変わり小さな滝ができてしまったほたるの里の水路に杭も打ちました。



竹林整備 がんばりました!

☆これからの活動

定例会:4/21(木)、5/1(日)、5/19(木)

花壇の会:5/13(金)

とんぼのせせらぎ:4/28(木)、5/26(木)

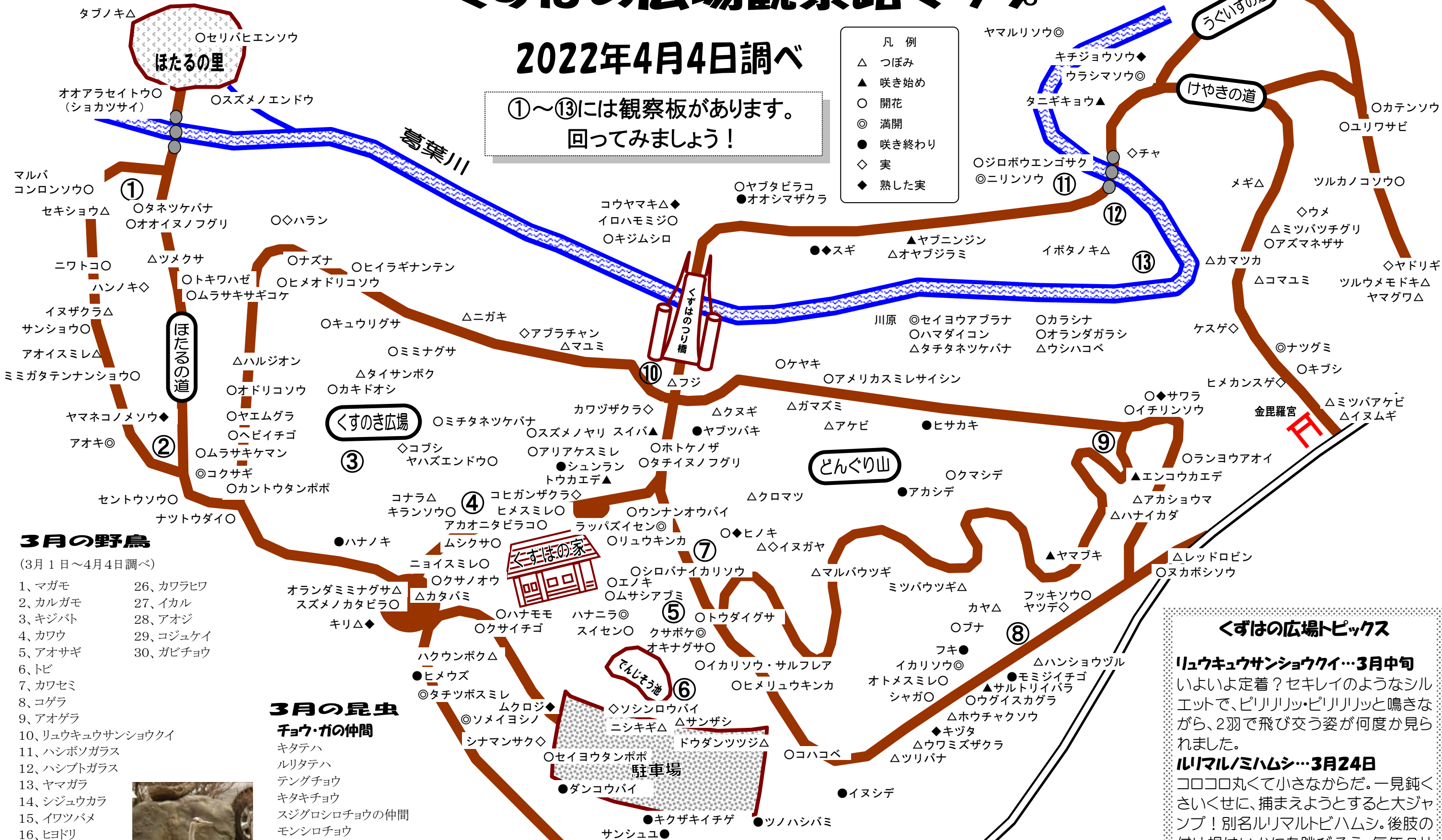
くずはの広場観察路マップ

2022年4月4日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡例

△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



3月の野鳥

(3月1日～4月4日調べ)

- | | |
|------------------|----------|
| 1、マガモ | 26、カワラヒワ |
| 2、カルガモ | 27、イカル |
| 3、キジバト | 28、アオジ |
| 4、カワウ | 29、コジュケイ |
| 5、アオサギ | 30、ガビチョウ |
| 6、トビ | |
| 7、カワセミ | |
| 8、コゲラ | |
| 9、アオゲラ | |
| 10、リュウキュウサンショウクイ | |
| 11、ハシボソガラス | |
| 12、ハシブトガラス | |
| 13、ヤマガラ | |
| 14、シジュウカラ | |
| 15、イワツバメ | |
| 16、ヒヨドリ | |
| 17、ウグイス | |
| 18、エナガ | |
| 19、メジロ | |
| 20、ムクドリ | |
| 21、シロハラ | |
| 22、ツグミ | |
| 23、ジョウビタキ | |
| 24、キセキレイ | |
| 25、セグロセキレイ | |



でんじそう池のおたまじゃくしをねらうアオサギ

3月の昆虫

チョウ・ガの仲間

- キタテハ
- ルリタテハ
- テングチョウ
- キタキチョウ
- スジグロシロチョウの仲間
- モンシロチョウ
- ムラサキシジミ
- イラガ(まゆ)

カメムシの仲間

- クサギカメムシ
- アカシマサシガメ
- ヨコヅナサシガメ(幼虫)
- ヤスマツアメンボ
- ツマグロオオヨコバイ



ムラサキシジミ

カブトムシの仲間

- コクワガタ
- カブトムシ(幼虫)
- アオオサムシ
- ナガジロサビカミキリ
- アカハネムシ
- ヒメツチハンミョウ
- ルリマルノミハムシ

ハチアブの仲間

- キムネクマバチ
- ニホンミツバチ
- ヨツボシオオアリ
- クロクサアリ
- アズマオオズアリ
- オオハナアブ
- ピロウドツリアブ
- ヒラタアブ

その他の仲間

- ヒゲジロハサミムシ
- オオカマキリ(卵しょう)
- ムネアカハラビロカマキリ(卵しょう)
- クビキリギス
- ヒシバッタの仲間(幼虫)

くずはの広場ピックアップ

リュウキュウサンショウクイ…3月中旬
いよいよ定着？セキレイのようなシルエットで、ピリリッ・ピリリッと鳴きながら、2羽で飛び交う姿が何度か見られました。

ルリマルノミハムシ…3月24日
コロコロ丸くて小さなからだ。一見鈍くさいくせに、捕まえようとする大ジャンプ！別名ルリマルトビハムシ。後肢の付け根はいかにも跳びそう。毎年クサボケの花にやって来ます。

エナガの巣づくり発見…3月27日
秘密の場所でコケや地衣類を使って、エナガが巣を作りました。高い木の股なので、観察できるのは若葉が開いて隠れるまで…。